

7 大垣共立銀行本社 郭町3丁目98

昭和48年(1973年)建築の地上17階、地下2階建ての本館と、昭和59年(1984年)建築の円筒形の新館の二つで構成された建物です。本館の建設当時、まだ大垣市内に高層のビルが無かったため、遠くからでもよく目立ち、ランドマーク的な存在でした。晴天時には空の青と建物の白のコントラストがとてもすばらしく、夜間にはライトアップされ、人々の目を楽しませています。



8 槌谷本店 俵町39

宝暦5年(1755年)に創業した菓子司・槌谷の店舗として、濃尾震災直後に建てられました。店舗入り口の看板は、明治の頃まだ珍しかったローマ字が彫られており、作成を請け負った当時の職人の苦勞の跡を見ることができます。菓子工場から火事が出た場合を考えて、英国から輸入されたレンガで立派な卯建風の防火壁が設置されています。震災ではこの防火壁により、焼失を免れたと伝わっています。



9 三輪酒造酒蔵 船町4丁目48

明治20年(1887年)と明治21年(1888年)に建築された酒蔵には二階蔵と三階蔵の2棟あり、どちらも木造の土蔵造りとなっています。震災での焼失を免れ、現在も十分に稼働している主要な醸造土蔵建築が一式残る貴重な産業遺構です。醸造という実用を目的に造られた建造物であるため、洗練された建築装飾はありませんが、切妻屋根や壁面の直裁な表現、さらに連続する押縁の線や不規則な開口部が単調になりがちな形に面白さを加えています。



美濃路大垣宿周辺モデルコース

道のり：約3km
所要時間：約1時間



まち歩きを
楽しもう!



10 上田家住宅 船町5丁目32

現在残る瓦に文化2年(1805年)の銘があることから江戸末期の建造とされています。2階の軒高が低い「つし二階」とよばれる構造で、幅の狭い瀟洒な縦格子や卯建・袖壁が残っています。土間列と座敷列の二列からなる町屋を一体化した大型の、明治期の店舗形式を残した特異な町屋といえます。



大垣市景観遺産を募集中!

市は、随時、景観遺産の募集を行っています。あなたの好きな景観を、ぜひ応募ください。

▶応募方法 / 市役所や上石津・墨俣地域事務所、各市民サービスセンターなどで配布の応募用紙に必要事項を記入し、都市計画課(〒503-8601 丸の内2-29、FAX81-4869)へ ※市HPや携帯電話からも応募可



応募HP